



ツツシ

9
Sep.
2020

地域のみなさまへ



>> 特集

変形性股関節症

- ◆ 股関節が痛くなるのはなぜ？
- ◆ 症状について
- ◆ お薬や治療について
- ◆ 新しい機械を導入した手術



整形外科 医師メンバー

温かいご支援に感謝申し上げます(お礼)

新型コロナウイルス感染症に関して当院の医療活動や職員に対し、これまで企業・団体様、個人の方からマスクやガウン等の医療物資のご寄附をはじめ多数のご支援をいただきました。皆様からの温かいご声援に励まされ全職員が一丸となって、安心・安全な医療の提供に努めてまいります。

ありがとうございます

<https://www.kakohp.jp/news/koronakifu.html>

検温・問診へのご協力をお願いしています

タブレットに近付くと検温結果が表示されます **36.1**

ご来院の際は**マスクの着用**をお願い致します

入館時、すべての方(患者さん、付き添いの方、面会の方、配達の方を含め)を対象に検温、問診を実施しています。感染拡大防止のため、ご理解ご協力の程よろしく願いたします。

病院入口の平時開錠時間変更のお知らせ

2020年8月から**7時45分**に変更となりました。(受付開始時間は8時で変更はありません。)
ご理解、ご協力をお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ 最新の情報はHP掲載のお知らせをご確認ください。

保健所に『帰国者・接触者相談センター』が設置されています。下記に該当する場合にはご来院前にお住まいの地域の健康福祉事務所(保健所)へ連絡していただくようお願いいたします。

- 息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱等の強い症状のいずれかがある場合
- 発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状が続く場合

(症状が4日以上続く場合は必ずご相談ください。症状には個人差がありますので、強い症状と思う場合にはすぐに相談してください。解熱剤などを飲み続けなければならない方も同様です。)

※高齢者や糖尿病、心不全、呼吸器疾患(COPDなど)の基礎疾患がある方や透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方は重症化しやすいため、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合は、すぐにご相談ください。

加古川健康福祉事務所(保健所)	相談窓口▶TEL:079-422-0002(平日9時~17時30分)
兵庫県コールセンター	相談窓口▶TEL:078-362-9980 (土日祝日9時~20時 及び 平日17時30分~20時)

募集 詳しくはホームページをご覧ください。

ボランティア
外来案内、縫製や院内行事などのお手伝いをして下さっています。
加古川中央市民病院 ボランティア

採用情報
資格、経験不問の職種もあります。まずはお問い合わせ下さい。
加古川中央市民病院 採用情報

健康教室、各セミナーは現在中止しています。再開につきましてはHPにてお知らせいたします。



受付時間

受付：月曜日～金曜日
8：00～11：00

診療：月曜日～金曜日
8：45～17：00

休診：土曜日・日曜日・祝祭日
年末年始12月29日～1月3日

地方独立行政法人 加古川市民病院機構
加古川中央市民病院

〒675-8611
兵庫県加古川市加古川町本町439番地
TEL:079-451-5500(代表)
<https://www.kakohp.jp/>



おすすめの運動



エアロバイク



水中ウォーキング

治療、保存療法が行われます。痛み止めなどを中心とした薬物療法や温熱療法などの物理療法、運動療法などがそれにあたります。運動療法では、筋力トレーニングをするのがお勧めです。とりわけプールでの水中ウォーキングは、体重の負荷が少ない上、水の抵抗で筋力をつけることができます。プールに行くのに抵抗があるのなら、自転車やエアロバイクを使えば、自宅でテレビを見ながらでもできます。股関節の痛みには、体重も大きく影響しています。運動により、筋力アップはもちろんですが、体重を減らすことも可能になります。体重のコントロールには、



靴下を履くとき



階段の上り下り



歩きはじめが痛い



立ち上がる時

特集 股関節の痛み

変形性股関節症

最近、「感染症予防のため、外出自粛を強いられ、運動不足になり、体重も増えた。」という話をよく聞きます。そういったときに、股関節の痛みが悪化したということはないでしょうか？
筋力が低下し、体重が増えれば、関節への負担はさらに強まり、ますます関節の痛みが強くなる、と言つ悪循環に陥ります。
まずは病気を知り、適切な治療を、いいタイミングで行うことが必要です。



整形外科 主任科部長 西山 隆之

食事のバランスに気を付けることも重要です。保存療法を行っても痛みが続く、日常生活や趣味への影響が出始めると、手術療法を考える必要が出てきます。比較的若い年齢で、将来、股関節が悪くなるのが明らかであれば、骨盤を切って覆いを大きくする手術、「骨切り術」をすることもあります。しかし、この手術は入院やリハビリの期間が長くかかるため学校や仕事などの理由で手術のタイミングを逃すことも多く、そうすると軟骨がすり減って痛みが出てきてしまいます。
症状が進み、普段の生活にも支障があるなら人工関節を入れる手術、「人工股関節置換術」が選択肢になります。傷ついた関節面を取り除いて、人工の関節に置き換えます。人工関節は、金属製のステムとソケット、セラミック製のボール、そしてソケットの内側にはめ込む超高分子ポリエチレン製のライナーでできています。このライナーは、軟骨の役目を果たしており、ボールをライナーに組み込むことにより、スムーズな関節の動きが得られます。術後の痛みの改善は早く、確実性の高い治療です。

気になる症状があるときは
かかりつけ医の先生に
ご相談ください

当院ではしっかりと
かかりつけの先生と医療連携
を行っています。

当院の登録医一覧はHPで

加古川中央市民病院 開放病床登録医



検索

人工股関節置換術



骨切り術



関節が痛くなるのはなぜでしょうか？
股関節は、体と両脚をつなぐ関節で、最も大きな関節です。その構造は、大腿骨の先端にある球形の大腿骨頭と骨盤側で骨頭の受け皿になる寛骨臼との組み合わせでできた、いわゆる球関節で、多様な3次元的な動きができるのが特徴です。
「変形性股関節症」のほとんどは、寛骨臼が小さい「寛骨臼形成不全」が原因で発症します。
「寛骨臼形成不全」では、寛骨臼の形状が小さすぎるなど不完全なために、寛骨臼側および大腿骨側の軟骨に過度な負担がかかり、痛みを生じます。
その状態が持続すると、軟骨がすり減り出し、その結果、股関節が変形して炎症が起きて「変形性股関節症」の状態になってしまいます。
どんな症状があるのでしょうか？
症状とはどういうものかという点、痛みと可動域・動く角度の低下です。



正常 寛骨臼形成不全 変形性股関節症

通常、最初は歩き始めや立ち上がる時などの動き始めに脚の付け根に痛みを感じる事が多いです。その後、進行するに従い痛みの程度が強くなり、痛みの持続時間も長くなります。また、動きも悪くなり、日常生活では靴下を履くことや足の爪切りが困難となり、さらに、立ち仕事やしゃがみ込みがつかなくなったり、階段では主に上りがつらくなり、手すりが必要になるなどの支障をきたしてきます。
症状にあわせて治療しましょう
治療としては、まず手術でない

当院での治療の特徴

人工股関節置換術には、無理な姿勢で体をひねると脱臼を生じるなどの問題点もあります。しかし、手術で正確な位置に人工股関節を入れればこうしたリスクはかなり軽減できます。当院では、この目的でナビゲーションシステムを導入しています。このシステムを用いることにより、正確で安全な手術

が行えます。

また当院では、人工関節の手術を受けた人たち対象の患者会をつくって交流する場を設けています。股関節の痛みで日常生活が困るという人はもちろんですが、趣味の旅行やスポーツが楽しめないという人も、人工股関節の手術を受けて、生活を楽しむことを考えてもらえたらと思います。



詳細はHPで

加古川中央市民病院 整形外科



検索